

第17回学長カフェ【2021.02.09】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
国際観光	1	<p>授業について(1)</p> <p>今年の教職の授業はほとんどが遠隔授業であったが、授業の中で大事な授業なのに授業時間が30分しか無かったり、教科書が届いていない状態で授業が進み、どこの部分を行っているかが分からないことが多々あった。</p> <p>さらに、理解がままならない状態で出題方法や出題範囲が分からず試験が対面で行われ、多くの受講生が戸惑い、対策もできず不安を抱いたまま試験を受け、手ごたえもないまま試験が終わった。</p> <p>教師を目指している学生の集まりなので、教科書が届いていないのであればPowerPointなどに資料の一部を掲載するなど、学生が学修しやすい工夫してほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>教科書の問題については大変申し訳ありません。今年度もネットによる注文となりましたが、3月下旬より専用サイトを公開し、発注できるようにしました。これにより履修登録前であっても、教職科目のような必ず履修しなければ資格が取得できない科目については、あらかじめ注文することが可能になります。それでも教科書が授業に合わない場合については補足資料等を学生に提示するよう先生方をお願いしています。</p>	<p>本当に申し訳なく思います。</p> <p>教科書がないと授業後の学習や課題に支障をきたす。そういうことが起きないように4月からはきっちりとする。今年はお詫びするしかない。</p> <p>だが、遠隔授業で対応することを4月に決定したこともあり、教員も困惑して試行錯誤しながら行ったことに対しては褒めてほしい。</p> <p>一方で、教科書が無くて学生の習熟度が下がることがあってはならないことなので、4月からは絶対ないようにインフォメーションを行う。</p>
	2	<p>グラウンドについて</p> <p>陸上競技部に所属しており、グラウンドにタータンがなく学内で練習する場所がないため、タータンを整備してほしい思いが強い。しかし、タータンの整備は莫大な費用がかかるため、グラウンドに1つもない照明を付けてほしい。</p> <p>グラウンドに照明がなく、現在、テニスコートにある照明を頼りに練習しているが、夜暗くなると、ほとんど真っ暗な中での練習になり、ぶつかったり怪我をしたりする可能性もあるので、照明を付けてほしい。</p>	<p>総務課</p> <p>安全面に関する要望はなるべく対応したいと思います。しかしその他にも安全面・施設に対する要望がありますので、優先順位を決めながら順次対応していきます。</p>	<p>照明の設置であればどうにかしてあげたい。局長より回答を願う。</p> <p>街灯が暗いところに設置するなど、少しずつ対応している。</p> <p>しかし、今年度は、一律3万円の給付を行うなどコロナ対策を優先的に行ったため、計画通り実施できていないが、確実に学生の要望を受けながら行っている。</p> <p>あきらめずに学生も要望を出していただきたい。</p>
	3	<p>施設利用費について</p> <p>施設利用費について、今年度はZoom等の遠隔授業が多く、大学に来る機会が少なく、施設もあまり利用していないのに、納める額は同じだった。</p> <p>金額が減らせないのなら何に使っているのか学生は分かっているから、学生全体に伝えてほしい。できることなら減らしてほしい。</p>	<p>次長</p> <p>昨年からのコロナ禍に伴い、学生の皆さんへ教育の機会をできる限り早く提供できるように、また、皆さんの安全・安心を第一に考え授業実施に向けて教職員一体となり進めて来ました。大学として、これまで通り『教育の質と量を維持し通常通り単位認定をする』ことを第一優先として、遠隔授業においても<u>単位に見合うだけの授業ができるよう対応</u>しています。このことから、学納金等の減額は考えておりません。</p> <p>学納金は、学生の皆さんからの徴収金を基金として、教育、学内の施設・設備の整備、維持管理及び学修環境の整備について計画を立て進めております。</p> <p>単年度の徴収額では対応できない事項も多いことから、長期計画を立て、4年間・6年間の教育に必要とされる経費の総額を年数分で等分し負担いただいています。このことが『学納金の平準化』の意味です。</p> <p>ですから、これまでも、建物を構築するにあたり、その年度に在籍している学生だけに上乗せして負担いただくとか、今回のような緊急事態対応のため遠隔授業を開始するにあたり新システムを構築した経費を在学生の皆さんに別途負担いただくことはしません。</p> <p>また、学生の皆さん一人一人ですべて施設の使用頻度が異なることで、それに合わせて納入額を個別に変えることもしていません。</p> <p>本学は、コロナ禍においてもこれまでこの方針で進めておりますし、今後も変わることはありません。</p> <p>学内の利用を制限した期間においても、皆さんが利用する情報ネットワークやオンラインシステム、ソフトウェアの年間の使用料、保守点検費等は通常どおり発生しています。</p> <p>学内施設の整備や機器類等の点検・整備もこれまでどおり行っており、必要に応じて修理・交換する等の対応をしています。図書館においても学術研究に必要な書籍を年度計画に沿って購入しています。</p> <p>また、学内を毎日清掃するため外部業者に依頼し、いつでも皆さんを迎え入れられる体制を整えていました。どうぞこのことについて、ご理解いただきたくお願いいたします。</p>	<p>今年度の学長Caféでも数名の学生より同じ意見がなされた。</p> <p>ご理解いただきたいのは、人が来ていなくてもメンテナンス費用がかかるということ。例えば、清掃や補修をしなければならない。事務職員は、学生が大学に来れない時期も皆さんのために日々業務を遂行しており、その時に電気も使用する。そのため、学生の皆さんが大学に来れないからといって、費用がかからないとは限らない。むしろ、通常と同等に近い施設利用費・メンテナンス費がかかっている。</p> <p>それに対して本学は、「学生一律3万円給付」という非常に特別なことを実施した。これは、県内の他大学ではほとんどない。トータルで6900万円もの金額をペイバックしている。その他にも、教職員の有志より、1千万円もの金額を集め、インフルエンザの予防接種に充てたように、精一杯のことをやっている。</p> <p>コロナ禍で大学に来なかったから得をした、利益が出たとの話はない。経営上、返金できるような性質のものではなく、そこは十分分かっていたいただきたい。</p>

第17回学長カフェ【2021.02.09】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
国際観光	4	<p>新型コロナウイルス感染症について(1)</p> <p>コロナウイルスについて、本学でも数名感染者が出て、同級生もコロナに感染した。本人の虚偽報告なのか、大学側が事実を隠したのか分からないが、この同級生は、実際に対面授業を大学で受けていたが、manabaには感染した学生は大学構内には立ち入っていないとし授業が通常通り実施され、一時不安な日々が続いた。実際に大学に出てきている人だったため、該当学生がどの授業を履修しているかまで確認してほしい。</p>	<p>CHサポートセンター</p> <p>当該学生も含め、感染者が出た場合は、履修科目、出席状況、学内での行動範囲などを、本人への聴き取ったうえ、教務課などの関係部署とも確認をしている。さらに保健所とも確認しながら対応している。</p> <p>学長カフェ終了後に、この発言者に「実際に大学に出てきている」とした時期を確認したところ、保健所が指示した「感染の可能性がある期間」には該当しなかった。</p> <p>今後、不安や心配になった時は、CHサポートセンターへ相談してほしい。</p>	<p>私はおかしいことだと思う。担当部署より回答を願う。</p> <p>あなたのように、疑問に思うことは大事で我々に投げかけてくれるのはありがたい。</p> <p>ご存知のとおり本学は医学部を持たない大学として全国で初めてPCR検査センターを作った。不幸なことにこれまで5人も学生が感染した。しかし、1度もクラスターを出さなかった。それは1番目にPCRセンターがあったこと、2番目にクラスターを出さないという危機感をスタッフが共有して徹底して調べている賜物だと思う。</p> <p>ただ今回のケースは、該当学生が健康チェックを出していなかったり、行動履歴を忘れていたり、言い損ねていたり、そのようなミスから起こったのかもしれない。我々は本当かどうかというところまで突き詰めている。その成果もあって、他大学ではクラスターが出ているが、本学では1度もクラスターが出ていない。</p> <p>あなたの怒りはよくわかる。そのような疑問がわからないようにより一層努力していく。不快な思いをさせてしまったことは申し訳ない。</p> <p>しかし、我々もコロナについて考え、クラスターを出さないように診療所やPCR検査センターを作ったことは評価していただきたい。</p>
	5	<p>新型コロナウイルス感染症について（2）</p> <p>健康チェックの対策やみんなのコロナという疫病に対する知識がまだ足りないと思う。感染するとどうなるのか、などの知識が不十分で、多くの人がマスクから鼻を出していたりするので、マスクの機能性などコロナに対する知識は大学で周知した方が良いと思う。</p>	<p>CHサポートセンター</p> <p>マスクの機能性などの内容を記載した「キャンパスライフ・ヘルスサポートセンターだより2021年度第3号」を、4月6日17:00にマナバ「大学からのお知らせ」コースニュースに掲載した。</p>	<p>それに関しては、CHサポートセンターより情報を提供しているが、マスクの効果などもう一度原点に立ち返り、症状や後遺症など正しいコロナの知識を含めて対応を行う。</p> <p>インターネット等にもアップする。</p>
社会福祉	6	<p>授業について(2)</p> <p>教員のやる気が途中で見えなくなってしまう、自分自身のやる気もなくなりモチベーションが低下した。</p> <p>また、教員に連絡を取るにも遠隔授業となり連絡をとるタイミングなど悩み、結果、連絡ができなかった。</p> <p>教員もコロナと戦っていることは分かるが、モチベーションを上げるために大学としてどうしているか知りたい。</p>	<p>教務課</p> <p>コロナ対策とはいえ、突然遠隔授業に変更された場合などは、戸惑ったことと思います。ただ、先生方への質問等は遠慮なくメールやマナバ等のさまざまなツールを活用して行ってください。また、本学では毎年学生の皆さんへ授業アンケートを実施しています。もし、先生方の振舞い等に疑問があれば、遠慮なく自由記述欄に記載して下さい。</p>	<p>モチベーションの下がった教員がいてはいけないので、2月の全学教授会で声を大にして、今年度使用した遠隔授業のコンテンツをそのまま使用する事を禁止すると伝える。また、4月からは少しでも対面授業を増やし、新たな気持ちで授業をしてほしいということ伝える。</p> <p>大学には学生ファーストで学生を愛する教職員が多くいる。そのため、学生をうるさいと感じる人は少ない。学生のために忙しいのは当たり前、遠慮なくいろいろ声を発してほしい。苦しいときは声を発してほしい。</p>
	7	<p>授業について(3)</p> <p>介護クラスで9月に実務実習には行ったが、前期の授業が遠隔授業となり知識は身についたが、技術は身につかず、実習でとても悔しい思いをした。</p> <p>介護クラスは実習もあるので、遠隔ではなく対面で授業を受けたい。</p>	<p>教務課</p> <p>学長がおっしゃったように遠隔授業の問題は全国の大学に共通する課題です。実習先でくやしい思いをしたのは申し訳ないと思っています。ただ、例え対面授業で実施されたとしても、現場ではまだ通用しない技術があり、同じように悔しい思いをすることもあります。この思いを忘れずに今後の授業に取り組んでくれればと思います。本年度は、特に実習系の科目については対面授業で行う予定です。</p>	<p>あなたたちだけではなく、全国的な問題である。看護師の卵も一度も実習には行けず、臨床の場に出る。お医者さんの卵も実習が半分くらいになり一度も患者さんを診ずに臨床の場に出ざるを得ない。これはあってはならないことであるが、スタッフが最大限努力をした上で仕方がないという状況。</p> <p>そのような中であなた方もよく耐えたり、教員たちもよく耐えたと思う。4月からは少しでも対面授業を増やすように、2月の全学教授会で伝える。少しでもこのような思いを学生にさせないようにできる対面授業は感染対策をしっかりと行った上で実施したい。</p>
	8	<p>実習時の交通費について</p> <p>介護クラスでは4年間で実習に5回行かなければならない。</p> <p>福祉施設はタクシー等で行かなければならない遠いところもあり、交通費の負担も大きくなるので、実習時の交通費を何割か補助してほしい。</p>	<p>次長</p> <p>実習は、個々人の単位認定にあたり必修要件であり卒業要件単位となっています。</p> <p>また、将来、職業に就くうえで必要な資格取得に係わってきますので、受益者負担と考えています。他学部においても実習に係る経費は、徴収しており各自が負担することとしていますので、社会福祉学科においても同様の扱いとしています。</p>	<p>局長より回答を願う。</p>
9	<p>学食の食品アレルギー表示について</p> <p>私自身、食品アレルギーがあり、学食を利用したくてもアレルギーを気にして利用できない。</p> <p>学食にアレルギー表示してほしい。</p>	<p>学生課</p> <p>アレルギー表示については以前より実施していましたが、現在の表示では不十分ですので、現在わかりやすい表示への移行を依頼中です。</p>	<p>重要な問題であると思う。</p> <p>学食にアレルギー表示をするよう対応を依頼する。</p>	

第17回学長カフェ【2021.02.09】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
健康栄養	10	<p>授業内の課題について</p> <p>オンライン授業で、グループ課題を出されたときに、遠隔の為にグループのメンバーと直接話ができず、やる学生とやらない学生がいて、課題への取組時に負担の差がでてしまい、やる学生に負担が集中してしまう。 また、評価は個人ではなくグループとなり、対面授業で実際にみんなと話しをし、みんなで1つの課題を完成させた方がよいと考えるので、オンライン授業より対面授業を増やしてほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>グループ内の温度差はどうしても発生します。この問題を解決し課題を完成させることもグループ学習の一つの目的です。ただ、遠隔授業による実施については、初めての経験で戸惑う部分も多くあったと思われます。本年度についてはできる限り対面授業を実施していく予定です。 コロナ禍終息後においても、Zoom等の遠隔会議システムは、社会のさまざまな場面において活用されていくと思われます。今回の遠隔によるグループ学習にもある程度慣れておく必要があると思います。</p>	<p>グループ課題は温度差があり本当に大変だったと思う。 グループワークの中には、頑張る者、ずるをする者、したようにみせかける者などが必ずいる。 文部科学省は少しでも対面授業を増やすよう方針を出している。4月以降、コロナの感染状況が落ち着いていけば対面授業を増やす。 また、このことを健康栄養学科の教員にも伝える。その部分だけでも対面授業にできるよう伝える。</p>
	11	<p>マナバの健康観察報告について</p> <p>マナバの健康観察報告について、私自身、毎日、体温を測り、自分の体温を知ることが大切なことだと思う。 今どのぐらいの提出率があるか分からないが、健康観察の義務化により、出せばいいと考えている人が多く、体温を測らずに報告をする人が自分の周りにもいる。 マナバに入るのが面倒であったり、朝起きるのが大変だと感じる人も多いので、個人的にはmanabaより、みんなが使っているLINEなどで入力する方が良いのではないかとと思う。</p>	<p>CHサポートセンター／大学評価・IR室</p> <p>【CHサポートセンター】 健康チェックは、他人のために行っているのでは無く、「自分の健康と命を守るために行っている」ことを、一人でも多くの方に理解していただきたい。 CHサポートセンターでは、感染している人を早期発見し、感染拡大を防止するために、月～土の朝に皆さんが提出した健康チェックを確認し、体調不良者へ個別に体調の聴き取りをして、受診を勧めたり、対処法を伝えている。</p> <p>【大学評価・IR室】 健康観察の意義については、CHサポートセンターから回答の通りです。 大学がManabaシステムを使用する理由は、対象者約2200人の提出状況、設問の回答状況の異常(発熱の記録)などが一覧で確認できることからです。 また、LINEなどを使用するとgroupLINEでは他の人の情報がgroup内で閲覧されること、一対一のLINEでは、2200人の提出を一覧で確認できないため、異常を見落としてしまう可能性があります。また、SNSやメール等の利用も同様の理由で選択していません。 検温調査のManabaの回答時間を見ると、提出者の8割以上が、回答時間が15秒以内、30秒以内の回答は9割5分以上で回答されています。検温に3分掛かったとしても5分以内で回答がなされている状況です。また、manabaは大学からのお知らせや講義でも使うシステムですので、大学では学生にmanabaシステム毎日ログインして頂き、情報の確認をお願いしています。従って出来るだけ使用に慣れて欲しいと考えています。よろしくお祈いします。 今後も学生のアンケート調査等は、出来るだけストレスがなく、手短かに回答できるように検証を続けていきます。学生の皆さんの意見や現状を正しく把握することは、大学としての様々な判断をするときの大切な根拠となります。引き続き、アンケート調査等の回答のご協力とご要望意見等をお願いします。</p>	<p>健康チェックは頭を悩ませている。 今日のデータでいくと、国際観光学科と社会福祉学科で提出率が約4割程度、健康栄養学科と薬学科で約7割程度となっている。学生全体で行くと半分も出していない現状が続いている。 私自身、体温がいかに重要かということは学生時代から学んできた。人間は体の不調があれば体温に現れる。今行っている健康チェックは、コロナに感染しているか否かだけではなく、体に異常があるかないかを把握するのにも必要なチェックとなる。 あなたがおっしゃる通り、体温も測らず健康チェックを提出している人も想像できる。体温も測らず健康チェックを出す者は心のどこかに痛みを持ってほしいと思っており、一日に一回はコロナの事を考えてほしいし、もちろん、公正に出してほしい思いはあるが、出さない者より出すの方がずっと重要。これを簡易的にLINE等で行う方法などは、担当部署より回答を願う。 体温を測らずに健康チェックを出していることが分かればもちろん注意するが、出すことはきわめて重要。本学で感染が分かった5人はいずれも1度も健康チェックを出していない。 いかに意識が大事か、コロナを人に移さない、自分が感染しないという意識が大事だと繰り返し繰り返し伝えている。特に本学は、CHサポートセンターという非常に日本で特出されるようなセンターがあり、一生懸命この問題に取り組んでいる。緊張感を保ちながら健康をチェックしている職員が本学にはいるんだということを知っていただきたい。</p>
	12	<p>実習について</p> <p>臨時実習に私たちは行くことができたが、他大学の栄養学科では行けていないところもある。 実習に行けた理由として、PCR検査を本学で受けることができ、施設側も安心して受け入れることができるからおっしゃっていた。 1週間だけでも実習に行くことができたのは恵まれていることで本当に感謝している。</p>	<p>総務課</p> <p>学長と同様です。今後も学生が満足できるような取り組みを行っていきたいと思います。</p>	<p>そのように感謝していただけるのはありがたい。</p>
	13	<p>Wi-Fi環境について</p> <p>5号館のWi-Fi接続があまり良くない。 特に、2階の栄養教育論実習室で、みんなでインターネットを使用し計算する授業では、授業内で課題が終えることができる人と終わらない人がいるので、環境を整備してほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>学内のネット環境については、日々改善を続けています。本件も対応していますが、まだ不備が起こるようだと教務課に教えてください。</p>	<p>4月にインターネットの環境についてかなり問題になった。 それに関して、容量のことなど、様々なことを検討し、テレビ佐世保の回線等を利用して、増設した。 今後もインターネット環境の整備については、できる範囲のことを精一杯対応していく。</p>

第17回学長カフェ【2021.02.09】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
薬	14	<p>後期定期試験の日程について</p> <p>今回の後期定期試験が15回目の講義が終わった翌日から実施され、薬学部では科目数が多く、内容の学修も難しいこともあり、定期試験までの日程が短く学習がうまくできなかった。 もう少し定期試験前に学習できる期間を設けてもらうか、期間の確保が難しい場合は1日1科目にしてほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>本学においては、定期試験の時間割を別途作成しています。薬学部においては、多くて1日2科目となるよう配慮している関係上、試験期間が長く設定されています。授業については15週を必ず設定しなければなりません。なるべく試験は1日1科目を設定できるようにしていますが、年間スケジュールの関係で難しいのが現状です。</p>	<p>担当部署（教務課）より回答を願う。 今年のスケジュールは学生を第一に考え、教務課を中心に頭を悩まし、1年間苦労した。薬学部は特に、年々覚えなければならぬことが多くなり学生がかたいそうだなと思うが、定期試験を行う意義は、習熟度を増してもらうためであって、学生を苦しめるためではない。 今後もスケジュールについては十分考えていく。</p>
	15	<p>学食やローソンの利用について</p> <p>休み時間内に学食やローソンを利用したいが、利用する人が多く、混みあっているため買い物をするだけで休み時間が終わってしまう。 次の時間の準備や食事をする時間が足りなくなることがあるため、お昼時間に利用できる施設を充実してほしい。</p>	<p>学生課</p> <p>学食の休業、ローソンの時間短縮での営業については、利用者である学生教職員にご不便をお掛けしています。一方で、経営者が学外の方であり営利企業ですので、「赤字」を前提とした営業を無理強いすることはできませんが、引き続き最大限大学に協力していただけるように交渉は継続していきます。</p>	<p>遠隔授業で学生が学内にほとんどいない中、経営度外視で、他の店との収支バランスで営業してもらっている。 そのような状況もあるので、混みあってしまうかもしれないが積極的に利用してほしい。 新規感染者も穏やかになり、4月以降は対面授業を増やす方向性で考えている。さらに、ワクチン接種が導入されれば、感染者は段々減る。そうなれば、ローソンの利用できる時間が長くなり、学食の利用も増えていくと思う。もう少し辛抱していただきたい。</p>
	16	<p>サークルの活動支援費について</p> <p>コロナ禍でサークル活動が思うように出来ず、活動支援費もあまり使用できなかった。 例年、活動支援費が余ったら翌年の活動支援費が減額となると思うが、今年度はイレギュラーなことがあったと思うので、今年度の活動支援費が余っても、来年だけは減額しないでほしい。</p>	<p>学生課</p> <p>学生会による活動支援費は単年度での運用となっていますので、今年度の予算に余剰額が出たとしても、来年度予算と相殺することはありません。</p>	<p>学生課より回答を願う。</p>
	17	<p>教室について</p> <p>受講生に対して教室が狭くて、かなりぎちぎち。 大きい教室を増やしてほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>薬学部では受講生を半数に分けて、遠隔と対面を交互に実施し、教室にいる学生の人数を減らす工夫を行っています。</p>	<p>講義室が狭い問題は全国の国公立・私立大学の共通の問題になっている。 限られた講義室のなか、授業を回すのに精一杯で、1つの校舎を作るとなると何億というお金がかかる。ですから、上手い具合に教務課の方々が考えて狭い部分を精一杯やっている。 ただ幸いにも、キチキチでもみんながルールを守ってくれているので、日本全国、講義で感染したという事例は1例も無い。今後も少しでもスペースを取れるように努力していく。</p>
	18	<p>教室の設備について</p> <p>遠隔授業を受ける教室で、時間によってスクリーンが見にくいので改善してほしい。</p>	<p>教務課</p> <p>薬学棟6101～6104教室については、プロジェクターを交換しました。教室を全点灯しても鮮明に見えるようになっています。</p>	<p>プロジェクターの光量がひくいなどはしっかり意見を出してもらい改善していきたい。</p>